

平成26年10月8日「はたマーケット」オープン！

人口340人の波多地区に新たな商業拠点がオープン



*平成27年2月12日 小さな拠点」全国フォーラム発表資料より

はたマーケット販売業務

波多交流センター職員

雲南市からの交付金で波多コミュニティ協議会が雇用しています。



交流センター事務室では
普段の仕事をします。



職員4人が役割り分担をして、普段の業務とはたマーケットをやりくりしています。会長も運営手続き、送迎などで大忙しです。やっと慣れてきた運営ですが、まだまだこれからです。地域の皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。

地域内交通「たすけ愛号」

交通

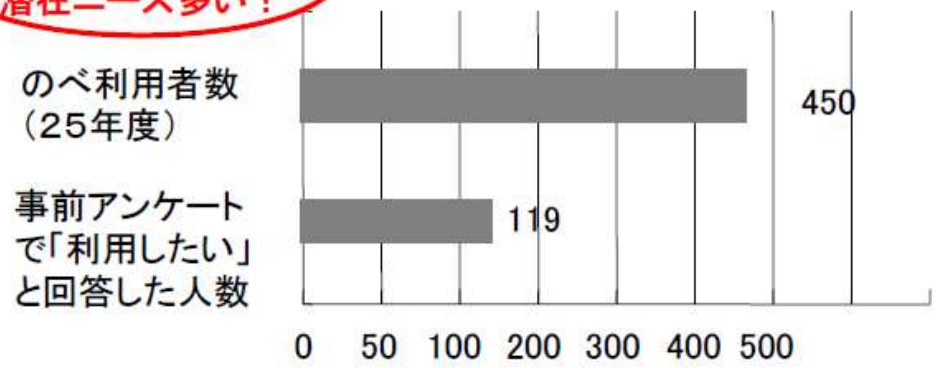
車を持たない高齢者の方、一人暮らしの方より、手軽に頼める交通機関があれば嬉しいとの要望より「たすけ愛号」の運行が始まりました。

はたマーケットオープンにより買い物に来られた方の送迎を「たすけ愛号」で行っています。
買い物をしていただいた方は無料となっています。
買いに来られない方は、注文取って配達をします。
運転は、交流センター職員でおこなっています。



リピーター多い！
潜在ニーズ多い！

「たすけ愛号」の利用ニーズと実績



利用用途：診療所、マーケット、温泉、バス停、知り合い宅へなど

5. 素敵な女性たちが未来を創る



大分県杵築市、国東半島の山間部・大田地区
人口1,409人、高齢化率50.5%の山里に
なぜか、スタッフ16人の国際観光会社が

中は、モダンなオフィス空間で世界とつながる



年間2,000人の海外セレブの目当ては、地元のおばあちゃんたちの「フルコース」



長門市俵山温泉の素敵なお菓子屋さん



2016/02/27

ユーカリとタイヨウ

長門市俵山温泉の集落の一番奥にさん、



2016/02/27

「ロバの本屋」さんがある！ 昔の納屋を改造して



2016/02/27

本屋さんの横にミニキッチン
奥様専用サイズのドア！



2016/02/27



島根県津和野町左鏡地区「うしのしっぽ」(もりのようちえん)

6. 地元のつながりと美しい暮らしの中へ定住

始まった「郷の案内」やさか暮らし1日体験～ここで一緒に暮らそう！
2012年3月 全国10都府県から40名が参加。集落住民が案内役
6つの集落、7つのコースに分かれ、「ええとこ歩き」を実現



2012年8月、その年の3月の「郷の案内」(ええとこ歩き)に参加した
子連れ夫婦 ♡が弥栄に定住(関西圏より)～
10月から第2期兼業型就農研修生に～やさか郷づくり事務所



地域住民の自律性、内発性に基づく人口還流方式「集落つながり定住」

●「集落一文字憲章」づくり



小坂集落では、集落内外の人に、集落の価値観を提示する「文字憲章」を制定

●弥栄自治区の定住住宅と連携



●移住の手引き(弥栄全体)

1. 移住するってどういうこと？

～住居形態：新築住宅 × 新築住宅 × 後見人～

① 移住に際しては、移住先を決める前に、移住先で暮らすイメージを具体的に描いてみる。

② 空き家を借りて住むには

～ワンポイントアドバイス～

移住先を決める前に、移住先で暮らすイメージを具体的に描いてみる。

●暮らしの覚え書き(集落単位)

暮らしの覚え書き

～小熊 集落から さんへ～

暮らしの覚え書き

～小熊 集落から さんへ～

暮らしの覚え書き

～小熊 集落から さんへ～

暮らしの覚え書き

～小熊 集落から さんへ～

ベテラン住民の背中を見て、移住者が地域に根ざしていく

(浜田市弥栄自治区カレンダーより)





手間をかけたものしか伝わらない。地元は、一人一人の生きた姿を記憶し、未来へつなげるところ。人口とは人生の数。